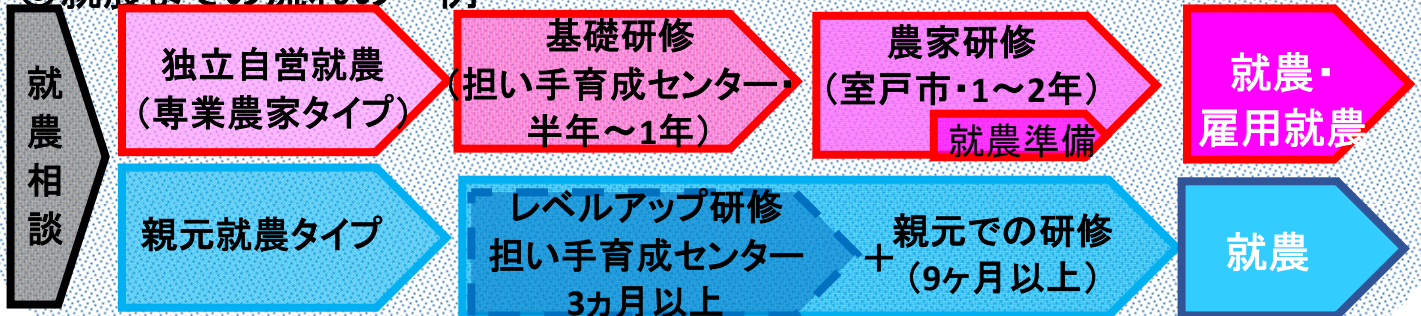


産地提案書(平成30年度)

室戸市で ナス農家を 募集します！



◎就農までの流れの一例



まずは室戸市の紹介から

室戸市は、高知市の東方78kmに位置し、太平洋にV字形に突出した日本八景の室戸岬を中心に東西53.3kmの海岸線を有しています。面積は248.22平方キロメートルで人口は約13,500人の小さな市です。地質的には、人と自然が調和し、地域振興に寄与するであろう“UNESCO世界ジオパーク”の認定を受けています。

室戸市といえば水産業の町として有名ですが、室戸市中・西部を中心に施設ナス・ピーマン・キュウリといった施設園芸や、ユズ・ポンカン等の果樹、千両といった花卉、甘薯・オクラ等の露地栽培と多様な農産物を生産しております。また、土佐あかうしをはじめとする肉用牛や、乳牛が飼育されています。

【学校等公共施設】

室戸市には平成30年度現在、小学校7校・中学校5校・高校1校・保育所及び保育園7か所(うち私立4か所)あります。



先輩就農者(ナス部会)から



【ナス部会長の経営のご紹介】

平成8年から促成ナス(28a)を農業経営開始し、現在はレンタルハウス事業を活用し42aのハウスで環境制御技術を取り入れ品質、収量の向上に取り組んでいます。

【ひとこと】

大変なこともあります。頑張った分だけ自分に返ってくる、とてもやりがいのある仕事です。

問い合わせ先: 室戸市担い手育成総合支援協議会(事務局) 室戸市産業振興課

〒781-7185 高知県室戸市浮津25番地1

TEL 0887-22-5119 FAX 0887-22-1120

mail mr-010900@city.muroto.lg.jp

私たちがサポートします！



室戸市産業振興課

室戸市で本気で農業をしたいと頑張っている人を応援します！

研修・独立経営の各段階で利用できる支援制度もありますので、まずは気軽に私達に相談してください。



高知県安芸農業
振興センター室戸支所

各専門分野の普及指導員が営農の栽培技術、支援制度等の各段階について幅広くサポートします。経営安定に向けて課題をクリアしていきましょう！



高知県農業
協同組合

技術の習得や資金の確保をサポートします。営農開始から経営が安定するまで、乗り越える課題はたくさんありますが、必ず乗り越えられるので頑張ってください。

【営農指導課芸東ブロック】

求める人材(3人程度)

- ・本気で施設ナス農家として就農を目指す方で、家族の理解・協力を得られる方
- ・心身ともに健康な方（体力勝負です。また南国高知の暑さに耐えられることも必要です。）
- ・室戸市に居住できる方で18歳以上43歳未満の方（夫婦が望ましい）
- ・受入農家のもとで1～2年間の実地研修を行える方
- ・部会や地域活動に積極的に参加できる方
- ・営農活動に使用できる自己資金（生活費を除く）200～300万円程度ある方（500万円程度あるのが望ましい）

ナス農家の作業体型と経営モデル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業内容							準備	△	定植	肥培管理・収穫等		

※経営モデルは目安であって、所得を保証するものではありません。数値やスケジュールはあくまで参考です。

□経営面積：20a □売上高：782万円 □経費：510万円 □所得：272万円

【経営モデル】

■10a 当たり収量 18t ■家族労働力 1人+雇用1～2人

就農支援事業

【就農支援】

□研修中

- ・国、県の支援制度を活用して、最長2年間、最大180万円を支給します。
(ただし、受給には要件があり、研修終了後1年以内に就農しなかった場合等は返還していただきます。)

□就農時・就農後

- ・国の農業次世代人材投資事業（経営開始型）を活用して、最長5年間、年間最大150万円の支給を受けることができます。
(ただし、就農時の年齢が45歳未満に限られるなど、受給を受けるためにはいくつかの要件があります。)
- ・園芸用ハウス整備事業（新規就農者区分）は県内でもトップクラスの補助率（事業費（ただし税抜き）の80%）で整備することができます。
- ・その他、農地や施設、機械等の確保については、農家研修期間中にご本人の要望をお伺いして支援します。（全ての要望に応えられない場合もあります。）
- ・経営開始後も室戸市、JA、ナス部会、高知県安芸農業振興センター室戸支所が様々な相談に乗りながら支援します。

就農へのポイント

施設ナスを経営する際は、とにもかくにも農地や園芸用ハウス、場合によっては機械などの設備が必要です。そのためには地域に溶け込み、地域の人達に認めてもらうことが大切となってきます。認めてもらい信用を得ることで農地や園芸用ハウス、設備の確保が容易になるだけでなく、その後の営農活動する際の理解や助言もいただけるようになります。

地域や生産組合、グループなどともぜひ交流を深め、ともに汗をかいていく仲間を増やして楽しい農業経営を目指しましょう。

生活支援事業

【空き家バンク制度】

市内にある空き家を有効活用し、移住希望者への居宅として掲載・紹介する登録制度。この制度により、「家」の問題が解決し、実際に移住された方が多数います。

【空き家改修費等補助金】

上記の空き家バンク制度を利用し、諸条件を満たす場合において補助を受けることができます。空き家の改修等を行い、住みやすい「家」を確保できます。

上限は182.4万円（国1/3・県1/3・市1/3）

【移住体験住宅】

最長27泊28日、日額1千円で本市への移住を考えている方が利用できる住宅を整備しています。地域との交流や、その他有益な情報を得るためにご活用ください。

【移住促進住宅】

移住を支援する目的で、格安で提供する住宅を整備。

2月～2年間の定期借家契約となりますが、ご自身の希望に添える物件に巡り合ってください。ご自身の間と考えています。

【その他支援等】

詳細はこちら

→<http://www.city.muroto.kochi.jp/hopweb/joho/html/joho00001619.htm>



室戸市で生活するにあたって

【田舎暮らし情報】

- ①公共交通機関が十分発達していないため、住民の足は専ら自家用車です。当然、ガソリン代や自動車税等の維持費はかかりますが、マストアイテムとなっています。
- ②市内全域において下水道が整備されていないので、浄化槽を備えた水洗トイレが普及しつつありますが、簡易水洗式トイレ、所謂ぼットン便所も多く残っています。
- ③田舎の家は、安くて広い貸家が比較的多いです。6LDK一軒家が5万円以内で借りられることもよくあります。
- ④物価は都会と比べても、物流の関係上、決して安いものではないと思います。しかし、ご近所付き合い（これもマスト）が密であるため、野菜や魚等はお裾分けがあったりなかったり。

①～④まで簡単に気づいたことを挙げましたが、快適な田舎暮らしをしていくためには、地域コミュニティへの関わり方によって大きく左右されます。ここに積極的かつ円滑に関われない方には、正直、厳しいかもしれません。

田舎暮らしご希望の方は、

室戸市企画財政課移住促進室までお気軽にお問合せください。

HP：<http://inakagurashi.kochi.jp/>

